

新潟県障害者リハビリテーションセンター 平成 25 年度事業報告書

1 職員の配置状況

(当該年度 3月31日現在)

職名 区分	施設長	医師	サービス管理責任者	直接処遇職員								事務員	合計
				生活支援員	職業指導員	就労支援員	作業療法士	理学療法士	言語聴覚士	看護師	あん摩・マッサージ指 圧師		
基準定数①	1	1	1	常勤換算方法で6.4以上								1	
正規職員の 配置②	1		1	7		2				1		1	13
正規職員以 外のものの 配置③		[2]		1			1	3	1				6 [2]
現員計 ②+③=④	1	[2]	1	8		3		3	1	1		1	19 [2]

注) 嘱託医は [] 内で記入すること。

2 生活介護又は施設入所支援の実施状況

(当該年度実績)

生活介護

個別支援計画を基に支援を行っている。

朝夕のバイタルチェックを行い利用者の体調管理を行っている。また、日中活動は手工芸コース、一般教養コース、コミュニケーションコース、パソコンコース、自主トレーニング、グループワーク等をとおして趣味の拡大、社会生活能力の向上に向けて支援している。

必要に応じて機能訓練（PT・OT・ST）に取り組んでいただき自立支援を行っている。

施設入所支援

個別支援計画を基に支援を行っている。

高次脳機能障害や身体機能面で自立できない利用者に対して、介助や支援をとおして自立支援を行っている。

また、生活習慣や食生活等の健康管理を看護師の指導のもと支援している。

3 機能訓練又は生活就労移行支援の実施状況

(当該年度実績)

機能訓練

個別支援計画を基に支援を行っている。

PT・OT・STと連携を取りながら機能向上に向けた支援を提供している。主にサービス内容は、手工芸コース、一般教養コース、コミュニケーションコース、パソコンコース、自主トレーニング等をとおして身体機能の向上、高次脳機能障害の改善、資格取得、基礎学力向上、趣味の拡大等を支援している。

また、社会生活能力の向上を目的に外出訓練、調理実習、グループワーク等に取り組んでいただき機能向上とともに社会生活能力の向上を支援している。

就労移行支援

個別支援計画を基に支援を行っている。

一般就労への就職や復職、福祉作業所（就労継続A型）の利用を目的に職業スキルの向上を支援している。主にパソコンの資格取得を目指して支援している他、ワークサンプル幕張版（訓練版 OAWork）を用いて、請求書・納品書の数値チェック、作業日誌の記入、ナプキン折り、物品請求書作成など事務的作業により近い形で支援している。

復職を目指す方に対しては、復職先と調整を図り復職に必要な職業スキル習得を支援する。また復職先から復職した際に行う仕事の内容を聞き、実際に仕事で使う道具等を借りて訓練を行っている。

4 健康管理・衛生管理の状況

(1) 利用者の健康診断の状況

(当該年度 3月31日現在)

期 日	受診済人数	検 査 内 容	実 施 状 況
例) 22. 4. 1	30 人	問診、血圧、体重測定	嘱託医
H25. 7. 16	6 人	身長・体重・視力・ 血圧・検尿	新潟県障害者 リハビリテーションセンター
H25. 7. 17	6 人		
H25. 7. 18	5 人		
H25. 7. 19	6 人		
H25. 7. 22	4 人		
H25. 7. 23	6 人		
H25. 7. 24	6 人		
H25. 1. 14	10 人	身長・体重・視力・血 圧・検尿・胸部X線	新潟県障害者 リハビリテーションセンター ゆきよしクリニック
H25. 1. 15	10 人		
H25. 1. 16	7 人		
H25. 1. 17	10 人		
H25. 1. 20	1 人		

(2) 職員の健康診断の状況

(当該年度 3月31日現在)

期日	受診済人数	検査内容	実施状況
例) 22. 4. 1	18 人	X線	レントゲン車
H25. 10. 28	2 人	問診・身長・体重・ 視力・血圧・検尿・ 血液一般・腹囲測定 胸部X線	新潟県障害者 リハビリテーションセンター ゆきよしクリニック
H25. 11. 11	5 人		
H25. 11. 15	4 人		
H25. 11. 22	1 人		

5 地域生活移行計画の実施状況

(当該年度実績)

各々の利用者の個別支援計画に基づいて、市町村及び相談機関、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、指定一般相談支援事業所等と連携して行っている。

6 サービス向上計画の実施状況

(1) 自己評価・第三者評価の実施状況

(当該年度 3月31日現在)

自己評価活動		第三者評価			
実施の有無	実施内容	実施の有無	評価実施機関	第三者評価の実施内容	実施時期
無		無			

(2) 意見箱、利用者アンケート等の実施状況

(当該年度3月31日現在)

- | | | |
|-------------|---------|---------------------------------|
| ・ 苦情・要望等の受付 | 苦情 0 件 | 要望等：その都度、職員会議等で
検討・対応を行っている。 |
| ・ 利用者満足度調査 | 3 月末日実施 | |
| ・ 食事アンケート調査 | 3 月末日実施 | |
| ※意見・要望等 | 17 件 | |

(3) オプションサービスの実施状況

(当該年度実績)

特になし

(4) その他サービス向上のための取組

(当該年度実績)

多岐にわたる利用者のニーズに対して、窓口で選別せず、まずは、要望をお聴きし、問い合わせに対して真摯に対応し、必要な支援につなげている。
地道な作業であり、時間もかかるが、一番本質的なサービスの向上につながっている。

7 利用者拡大計画の実施状況

(1) 広報・普及活動

(当該年度実績)

- | |
|--|
| ・ 施設パンフレットの作成及び更新 |
| ・ 見学者及び問い合わせ者へのパンフレット配布 |
| ・ 医療機関・相談機関・各市町村社会福祉協議会・その他関係機関へ
FAX レター「リハセンだより」毎月配信 |
| ・ ホームページの整備
行事等あった場合、記事の更新と写真の掲載 |

(2) その他利用者拡大のための取組

(当該年度実績)

- | |
|---|
| ・ 医療機関、行政機関、教育機関よりの依頼でプレゼンやパネルディスカッション等を実施して施設紹介とアピール活動を行う。 |
| ・ 医療機関、行政機関、相談支援事業所等の職員を対象とした施設の見学・説明会を定期的実施する。 |

8 権利擁護計画の実施状況

(1) 苦情解決の仕組みへの取り組み内容

(当該年度 3月31日現在)

	設置の有無	誰をあてているか(職・氏名)
苦情受付担当者	<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	副所長 秋山 明美
苦情解決責任者	<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	所長 東海林 正謙
第三者委員	<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	笠井 友治郎(大学教員・ 元身体障害者更生施設所長) 渡辺 啓子(民生委員)
苦情解決のための要領、マニュアル等の作成の有無		<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無

(2) 苦情解決の仕組みの周知方法

(当該年度 3月31日現在)

利用者・家族等への周知方法	窓口等への提示	会報等への掲載	契約締結時の説明	その他
	<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	
受け付けた苦情内容及び解決結果の公表方法	事業報告書への掲載	会報等への掲載	その他	
	<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	居住棟に掲示・利用者朝会で報告	

注) 「受け付けた苦情内容及び解決結果の公表方法」について、実際実績がない場合は、要領等で定められている仕組み上、どう対応することになっているかについて記入すること。

(3) 虐待防止に向けた取り組みの状況

(当該年度実績)

<ul style="list-style-type: none"> 事業所としてどのような体制(例:責任者の設置等)を整備しているか。 苦情受付の担当者を定め、虐待又はその疑いがある場合は、口頭や苦情受付箱への投書が出来る様に体制を整えている。 事業所としてどのような取り組み(例:研修の実施、掲示等)を行っているか。 利用者朝会・職員朝会・各種会議において、人権擁護等についての話題を取り上げ、職員と利用者が共に考え対応できるように、常に注意喚起を促している。 入浴時に、注意し身体虐待の痕跡等観察を行っている。 利用者間の人間関係に留意し、早めの対応が出来る様に努めている。
--

(4) 身体拘束の有無

(当該年度実績)

身体拘束の方法	件数	身体拘束の必要な理由	記録の有無	家族等の確認の有無
無し				

9 家族・地域・関係機関等との連絡体制計画の実施状況

(当該年度実績)

個別支援計画策定後、サービス担当者会議を開催し必要に応じて、本人、家族、市町村障害福祉課、指定特定相談支援事業所、担当ケアマネージャーを含め支援計画の周知を行っている。

10 環境への配慮

(当該年度実績)

ゴミの分別に努め、資源ごみのリサイクル活用に貢献する。カラーコピーの使用を最小限にし、必要枚数以上の印刷はしないように努める。裏紙の利用を積極的に行なう。暖房の設定温度(暖房 20 度・冷房 26 度)を守る。

11 災害事故防止対策の状況

(1) 防火管理者の状況

(当該年度 3月31日現在)

防火管理者職・氏名	交流センター 統括部長 丸田 徹	防火管理者 講習会受講	18年9月6・7日 受講
防火管理者選任年月日	18年11月2日 選任	消防署への届出	18年11月2日 届出

(2) 消防計画の状況

(当該年度 3月31日現在)

消防計画作成年月日	18年4月1日 作成	消防署への届出	18年4月1日 届出
職員への周知状況	「防災計画」「事故対応・防災計画書」の個人配布		
地震、台風等災害計画	「防災計画」の中に記載		

(3) 防災体制の状況

(当該年度 3月31日現在)

近隣施設・地域住民との協力体制	最終避難所として 向陽の里・あさひ園・亀田公園
夜間勤務職員の役割の明示	新潟ふれあいプラザ自衛消防隊編成表の 2. 閉館時間及び夜間に記載

(4) 消防署の立入検査の状況

(当該年度 3月31日現在)

消防署の立入検査の実施 (直近のもの)		年 月 日実施	所轄消防署名	
改善指示の内容	※ふれ愛プラザの報告に順ずる	左に 対する 改善 状況	消防署に対する 改善報告年月日	年 月 日

(5) 消防・防災訓練の状況 ※年に2回はふれ愛プラザ全体の訓練

(当該年度実績)

区 分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
消防訓練 (該当箇所に○印)	実施日	28日	29日	25日	30日	27日	24日	29日	7日	26日	28日	28日	29日	12	
	実施内容	避難	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
		救助		○						○					2
		通報		○						○					2
		消火	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
	消防署への事前通知		○						○						
	消防署の立会い								○						
	近隣施設、地域住民の参加														
その他の防災訓練 ()															
消防器具・避難経路等の自主点検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	
消防署による 検証指導の実施	(実施済のときは、実施年月日及び指導内容) 実施年月日： 指導内容：														

12 職員研修の状況

別 紙